

「愛知の教員育成」「愛知の教員育成指標」の改正案について

1 「愛知の教員育成」の改正について

(1) 趣旨

「あいちの教育ビジョン2025 -第四次愛知県教育振興基本計画-」の策定に伴い、「愛知の教員育成」を令和3年度に検討し、年度末に改正する。今後は、基本計画が改訂されるタイミング（5年ごと）に合わせて、同年に「愛知の教員育成」も改正する。

(2) 「愛知の教員育成（案）」について（資料1参照）

2 「愛知県教員育成指標」の改正について

(1) 趣旨

「愛知県教員育成指標」が平成29年度に策定され、5年が経過する。また、社会情勢も変化し、「学習指導要領」「あいちの教育ビジョン」「愛知・つながりプラン」等の改定も行われ、それに合わせて見直しをする時期が来ている。

検討のポイントは次の2点。（校長・教諭・養護教諭・栄養教諭共通）

- ①「あいちの教育ビジョン2025」で削除された「めざす『あいちの人間像』【共に生きる】【自分を生かす】【学び続ける】【世界に羽ばたく】」を削除し、「愛知が求める教師像」のみとする。
- ②指標の各姿を次の視点で見直す。
 - ・「着任時の姿」をどこまで求めるか。
 - ・「ICT教育」にかかわる内容をどう位置付けるか。
 - ・「特別支援教育」に関する姿をどう位置付けるか。
 - ・全体のバランスから見て、加除修正する必要はないかを点検する。

(2) 「愛知県が求める着任時の姿」について（資料2参照）

「理解する」「身に付ける」「実践しようとする」等の姿を求めることが厳しいことから、文言を見直す。

<改正点>

【指導力：児童生徒理解】教諭・養護教諭・栄養教諭

○子どもの発達の段階や成長に関わる基礎的な知識を身に付け、児童生徒理解の意義や重要性を理解し認識し、一人一人に愛情をもち積極的に関わろうとする。

【指導力：学習指導】教諭

○学習指導要領を理解し基に、発問や板書、ICTの活用、環境の構成などの基礎的な指導技術を身に付けたり、指導計画に従い実践したりしようとする。

【指導力：生徒指導】教諭・養護教諭・栄養教諭

○生徒指導及びキャリア教育の意味を理解するとともに踏まえ、個や集団を指導するための手だてを理解し基に、実践しようとする。

【指導力：多様性への理解と教育支援】教諭・養護教諭・栄養教諭

○人権感覚をもつとともに、児童生徒の個性を尊重し、個に応じた指導・支援をする必要性を認識している。

○特別支援教育、外国人児童生徒教育など特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の基礎的な知識を身に付けているとして、インクルーシブ教育の大切さを認識している。

【マネジメント力】改正なし。教諭・養護教諭・栄養教諭

(3) 「ICT教育」にかかわる内容について

「あいちの教育ビジョン」では、2019年12月に国が公表した「GIGAスクール構想」を受け、「多様な児童生徒の資質・能力を育成するため、個人情報管理を適切に行いながら、様々な学習活動でICTを活用し、個別最適な学びを実現していくこと」を目指しています。そして、施策の展開として次の三点が挙げられている。

① 情報活用能力の育成

- ・全ての教科において、情報活用能力を育成していく。
- ・プログラミング教育の充実。

② ICTを活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現

- ・児童生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力などの学習の基盤となる資質・能力を育成する。
- ・高等学校教育では、実社会での課題解決に生かすための教科等横断的な学びを実現する。

③ 子供の学びや教職員を支えるICT教育環境の充実

＜改正点＞

教諭【指導力：学習指導】

〔第1ステージ〕

○適切な発問や読みやすい板書、ICTの活用、意図的な環境の構成などの基本的な授業力を身に付け、児童生徒の主体的な学びを引き出す指導力を培うとともに、い、個に応じた指導を行おうとする個別最適な学びや協働的な学びの実現に向け授業改善に取り組む。

〔第2ステージ〕

○児童生徒の身近な社会・生活につながるような授業・単元の構想の工夫をし、ICTも活用しながら、主体的な学びを導く支える指導技術に習熟している、個別最適な学びや協働的な学びを実現していく。

〔第3ステージ〕

○高い専門性を基に、周りにある教育資産や新しい指導方法、ICTを効果的に取り入れ、他の教員の模範となる主体的な学びの授業を行う。

養護教諭【指導力：保健管理】

〔第1ステージ〕

- 健康診断や学校環境衛生の結果などから**についてICTも活用しながら**健康課題を把握し、学校三師・関係諸機関・保護者と連携し、適切に対応する。

〔第2ステージ〕

- 保健管理について中心的な役割を果たすとともに**ICTを有効に活用したり、組織的に**な対応**をしたり**する。

〔第3ステージ〕

- 保健管理の充実に向けて、**ICTも有効に活用するとともに、**学校、家庭、地域、関係諸機関との協力体制を確立する。

栄養教諭【指導力：食に関する指導】

〔第1ステージ〕

- 他の教員から学ぶなど**んだり、ICTを活用したりして、**自分の指導を改善しようとする向上心をもつ。

〔第2ステージ〕

- 児童生徒の発達段階や興味・関心・意欲を引き出す教材教具の工夫、**ICTの活用、**学級経営や学習方針に沿った指導を展開するなど、自らの授業力の向上に努める。

〔第3ステージ〕

- 食に関する指導を包括的にとらえ、適切に評価・改善し、**ICTを効果的に活用しながら、**教科等横断的な視点から食に関する指導の教育課程を編成するとともに、教職員に対して適切な指導・助言を行う。

校長【財務管理】

- 児童生徒の安全確保という視点から施設管理に努める。また、児童生徒のための教育環境整備という視点から**ICTや先端技術を含めた**備品等の充実に努める。そのために予算の計画的・効率的な思考に努める。

(4) 「特別支援教育」に関する姿について

「多様性への理解と教育支援」の姿を、各ステージでの系統性を整理しながら、特別支援の視点を意識した文言に変更する。

<改正点> 教諭・養護教諭・栄養教諭共通

【愛知県が求める着任時の姿】

前述

【第1ステージ】

- 個の特性や背景を把握し、適切な指導及び必要な支援を行う**捉えながら、適切な実態把握をすることができる。**
- 必要に応じて個に応じて個に応じた指導の計画を作成するとともに、合理的配慮に基づいた指導・支援を行う**特別な支援を必要とする児童生徒に対して、個に応じた指導を計画的に推進する。**

○実践を通して、児童生徒の多様性への理解を深めるとともに、~~多様性を生かした教育活動を実践しようとする~~合理的配慮に基づいた指導・支援を行う。

【第2ステージ】

○児童生徒一人一人の状況実態や特徴を踏まえた上で、関係教職員と連携し、組織的な指導や支援が行えるようにリード調整する。

○児童生徒の多様性に応じるため、~~を理解するとともに、必要に応じて~~関係諸機関や専門機関などの連携を推進する。

○教育支援に関する情報を確実に引き継ぎ、切れ目のない支援を推進する。（新規）

【第3ステージ】

○校内委員会などで組織的・継続的な指導や支援体制を整え、学校全体の視点で取り組を見直し、~~組織的・継続的な指導や支援体制を整える~~インクルーシブ教育を推進する。

○関係諸機関や専門機関家などの連携を積極的に推進する図る。

(5) その他

①校長編

＜改正点＞

【マネジメント力：学校安全・危機管理】

○学校安全マニュアルの遵守と事故・事件の事例を基にした危機管理マニュアルの改善を図るとともに、必要に応じてシミュレーションなどに取り組む。

②養護教諭編

保健学習から保健教育という文言への変更にとまなう改正。

＜改正点＞

【指導力：保健教育】

〔着任時の姿〕

○学校における保健教育は保健指導等と保健学習によって行われることを理解し学習指導要領を理解し、養護教諭の専門性を生かして、個や集団を対象に取り組もうとする。

〔第1ステージ〕

○学習指導要領を理解し、必要に応じて学級担任等と連携するなど、児童生徒の実態や科学的根拠を踏まえた保健学習教育を行う。